



杉戸中央ロータリークラブホームページ <http://www.sugito-chuo.com>

第740回 例会2009. 8. 13 休会

第741回 例会2009. 8. 20

司会 折原会員

点鐘 栗原会長

ロータリーソング それでこそロータリー

四つのテスト唱和 廣井会員

幹事報告

- RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)パートⅡが9月18日(金)9:00より埼玉会館にて開催されます。これは、入会3~5年の新会員対象の勉強会です。廣井会員が今回出席する予定です。



栗原会長

- 9月のロータリーレートは、1ドル94円です。
- 8月11日「友」インターネット速報より、11月7日に開催される「ロータリー国連デー」に、国連の代表者を含む1500人が出席予定です。これは、国際ロータリー代表者によって計画されたもので、水、識字率向上、保健、青少年についてパネル討論が行われるほか、人道的プログラム、ロータリーと国連の60年以上のわたる関係について語られます。
- 8月13日「ハイライトよねやま」より
寄付金速報:2009-10年度の7月寄付金は、約2億900万でした。約1400万の減少で、過去10年間で2番目に低い金額です。より一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。
奨学生募集:8月10日指定校が発表され、来年4月採用の新奨学生募集が始まりました。

ロータリーの友勉強会

RI 会長のメッセージ「新会員を迎え入れる」より、抜粋してご紹介いたします。

「私は、いつも、ロータリーとはそれぞれがリーダーである人々によって構成されている自発的な組織であるという点を心にとどめておくことが大切だと考えてきました。それぞれのロータリークラブは自立しており、また、そうあるべきです。国際ロータリーのリーダーシップとは、コントロールするために存在するのではなく、動機づけをして、導くことにあるのです。

今から104年前、ポール・ハリスが初めてロータリークラブを立ち上げたとき、彼は最初から奉仕のことを考えていたわけではありませんでした。彼の心にあったのは、人格、知性、道徳を備えた人々が、お互いの親睦と友情を楽しむことが出来る場所づくりでした。奉仕活動はそういった人々が集まった結果、自然の成り行きとして、後になって発生したものなのです。

ロータリーに新しい会員を導入する最善の方法は、何世代にもわたって引き継がれているやり方であることだと信じています。一人の会員が注意深く選んだ友人や顧客、同僚などを例会に招待し、もし相性が良さそうならその人を推薦するという方法です。この方法で私たちのクラブは調和を保ちます。このようにして、新しいクラブが伝統あるクラブになり、新会員が生涯にわたるロータリアンとなっていくのです。」

武井会員



P17.「家族に知らせたい ROTARY」より、**ロータリアンは、なぜ例会に出席するのですか？** をご紹介いたします。

ロータリアンは、例会で何をしているのでしょうか。食事をして、歓談して・・・楽しいひと時を過ごしているのだろうと、ご想像でしょうが、まさにその通りです。ほとんどのクラブが例会で食事を行います。食事は、本当の仲間になるための大切な儀式ともいえます。

また、例会には、「卓話」と呼ばれるスピーチの時間があり、そこから得た情報を基に海外のある地域に井戸を掘ったり、学校を建てたり、という奉仕活動が実施された例もたくさんあります。自分の会社の経営のヒントになったという例や、人生の転機になったという例もあります。

このように、ロータリアンは、毎週例会に出席にて仲間とともに食事をして楽しいひとときを過ごすと同時に、さまざまな役に立つ情報を入手しています。例会への出席が、会費の納入、雑誌の講読と合わせて、ロータリアンの三大義務の一つとなっているのには、こんなところに理由があるのではないのでしょうか。

ご家族の皆様、例会に出かけるロータリアンを快く送り出してください。また、例会のあと、卓話について尋ねてみてください。ロータリーが家族全員にとって身近なものになれば、共通の話題が増え、家族でも会話が活発になり、団らんの時間が増えることでしょう。

会長の時間

栗原会長

先日の流灯祭親睦例会では、多くの皆様の出席ありがとうございました。また、折原親睦委員長、そして細井会員には昨年引き続き大変お世話になりました。翌日の片付けでは、浜名幹事、渋谷会員、折原委員長 3 人になってしまい申し訳ありませんでしたが、これは、来年度の大きな課題として考えなければならないと思います。例えば杉戸 RC では、設営から片付けまで参加者全員で行います。よって花火の後には、ゴミ出しも済み翌日には何も残しません。当クラブでも、親睦会を土曜日



にするか、片付けを当日行うなど検討した方が良くいかなと思います。

今月の「ロータリーの友」で私も一読して頂きたい頁があります。P16 の「ロータリーを悼む」です。ここで、日本のロータリアンの数は、減少の一途をたどっているが、経済状況や健康上の理由だけでは割り切れないものを感じていると言っています。



ロータリーはもともと奉仕の理念によってポリオ撲滅を行っていた。しかし、今や資金を集める挑戦となってしまう目的よりも、それを達成する手段（寄付）となった。奉仕理念もマネーによって左右されるようになってしまったのだ。心の潤いを求める日本流のロータリーは、遺物のごとく忘れ去られていくのが現状である。

私もこの意見に同感するところがあります。毎年地区に集まる分担金や登録料に対して、何の案内や承認もなく事業が行われます。地区大会では芸能人を招いて盛大に行われますが、各クラブは、毎回全員登録をお願いされます。

私は、ロータリーが、今この地域において必要とされる団体なのか、存在価値があるのかないのか、そして、何をすべきなのかを問いたい。皆さんは、どのようにお考えでしょうか。

出席報告・スマイル報告

細井会員

会員数	出席	欠席	MU	出席率
25	9	16	9	64.00 %

栗原会長: 流灯例会ありがとうございました。また片付けをしていただきました会員には、感謝いたします。来年は、参加した全員で片付けましょう。

新井会員:折原会員:武井会員:中野会員:廣井会員
細井会員:矢島会員

第742回 夜間例会2009. 8. 27

18:30 点鐘(白龍)

